

2011年12月16日
ICTを活用した街づくりとグローバル展開に関する懇談会（第一回）

都市の「持続可能な成長」のマネジメントにむけて

三井不動産株式会社
代表取締役会長 岩沙弘道

1. 21世紀は「大都市の時代」

- ◆メガシティ（都市圏人口1000万人以上の都市；国連定義）の数は、1975年の3都市（東京・ニューヨーク・メキシコシティ）から2009年には21都市（上記＋主にBRICs）に増加

2. 都市の成長に伴う「集積の利益」と「集積の不利益（いわゆる都市問題）」

- ◆都市問題…交通渋滞、通勤混雑、住宅不足、居住環境の悪化、大気汚染、ゴミ問題、犯罪 etc.
- ◆集積の利益が不利益を上回ることで都市は成長してきた反面、都市問題への対処は事後的になりがち
- ◆新たな都市問題…少子高齢化、環境問題（CO₂）、エネルギー問題、グローバル化 etc.

3. 「都市のサステナビリティ（持続可能な成長）をマネジメントする」

必要性

- ◆都市の利便性、快適性、安全性を維持・向上させつつ都市問題を効率的に解決・軽減すること、即ち「都市のマネジメント」が求められている（「事後的な対処」から「事前の備え」へ）

4. 都市マネジメントシステムのインフラとしての ICT の可能性

- ◆輸送、交通 ◆電気、ガス、水道 ◆CO2 排出量抑制 ◆教育
- ◆エネルギーの効率利用 ◆医療、介護、健康 ◆安全、防災
- ◆行政サービスの効率化 ◆外国人への利便性の提供 etc.

5. コラボレーションと標準化の必要性ーバラバラ、単発ではダメ

- ◆行政、民間企業、大学等研究機関、住民 etc. とのアライアンス、
コラボレーションの必要性

- ◆弊社の取り組み事例ー『柏の葉キャンパスシティ』

「世界の未来像をつくる街」

3つの未来「スマートシティ」「健康長寿都市」「新産業創造都市」

- ✓ スマートシティ企画(株)…日立、SAP・LG・日本HP・シャープなど業界のリーディング企業18社によるジョイントベンチャー
- ✓ 柏の葉アーバンデザインセンター（UDCK）…市民と行政、企業、大学（東京大学・千葉大学等）等とが連携したまちづくり推進組織

6. ICT を活用した未来都市モデルへの期待

- ◆被災地の再生・創生、地域の再生・発展
- ◆海外への「まち丸ごとパッケージ輸出」の展開可能性

以上